

かなり主観の入った内容で、
ときどき根拠に欠けますのでご注意ください。
決して悪意はありません。



Österreich

Wien

sechste (5. 10. 2016)

オーストリア ウィーン在住 伊東宏修など

九月上旬は30°C近くになる日もあったのですが、中旬からは最高気温が20°Cを下回るようになり、最近では最低気温が一桁です。急激に秋になった感じです。夏の間、雨が降ると必ず出てくる体長10cm以上あるナメクジたちも、まったく見かけなくなりました。どこで何をしているのかは不明です。ナメクジ同様、気温によってあからさまに変わったのが、我が家近くのアイス屋。すっかり人だかりがなくなりました。

こちらのアイスは3種類のって€3(¥330)くらい。明らかに日本より豪快に決して整った感じではなく盛られます。しかも、気温にかかわらず、なんだか溶けるのが早い。ただ、コーン(Tute)は少し固め?? 下から溶けて垂れてくる危険性が、日本より低いように感じます。来年の夏も3段重ねを幼児がひとりでひとつ食べる姿をみかけることでしょうか。ちなみに、店によっては1種類だけというのができず、必ず2段重ね以上にさせられます(最悪の場合、同じものを2段)。そして、ソフトクリームはめったにみかけません。鹿追のソフトクリーム屋にチャンスあり??

話とはびますが、世界有数の住みやすい街といわれるウィーンは公共交通機関も充実しており、鉄道・バス・路面電車はあと何分で来るか常に表示されています。待っていても、10分以内には次が来ます。料金は、市内ならどこまで乗っても片道€2.2(¥250程度)。全ての駅にエレベーターがあるので、車椅子やベビーカーも大丈夫。時間によっては混雑もしますが、身動きが取れないほどのラッシュにはなりません。

しかも、地下鉄やバスでは席を譲るということがとても自然に行われます。ちょっと大きな荷物もっていたり、小さい子を抱いていたり、高齢者が来ると特別何かを言うこともなく何気なく席を譲る様子をよくみかけます。一見怖そうな刺青だらけでピアスのお兄さんも。逆に、それができない人は、けっこう恥ずかしいレベルの人。それでも、地方の人はウィーンは冷たい人が多いと言います。

ちなみに、列車内での携帯電話使用は、まったく制限がないようです。

Antwort

答えは①。お風呂場は、バスタブとシャワーだけで洗い場がないのが一般的なように、回数や洗い方などを含め入浴に関する文化が異なるようです。ポンプ式がないのも、そんなに使わないからだとか…。真偽のほどは不明ですが、大抵のものは大型なのに、ないということは需要がないからだと思います。ちなみに、日本のような「洗顔せっけん」もないらしい。また、固形石鹸は水の質が違うため、使用はあまり適していないそうです。確かに、すすぎがなんか変でした。

Frage

行く処に行けば
日本の物も入手可能。
(ただし、日本では聞かない日本のものも有)さて、これ、
おいくら?



正解は次回。

Deutsch

Österreichisches

1年生の学習ですが、23は十が2つと一が3つ。英語だと、twenty three ですが、ドイツ語では ドライラントツバントツヒ dreiundzwanzig。区切って言うなら drei und zwanzig。意味的には3and20。21以降を早口で数えるのは今のところ無理。423になると フィーアフンダート Vierhundert dreiundzwanzig。4つの100に3と20。日本語の数え方がシンプルだと思えます。